

自主防犯パトロール隊アップル☆キッズ（青森県）

皆さん、こんにちは。青森県弘前市から参りました、自主防犯パトロール隊アップル☆キッズ代表の山口です。私たちメンバーは8人おりますが、仕事などの都合により、なかなか全員での活動が難しく、普段は5～6人の活動となることが多いです。

では、アップル☆キッズメンバーの相澤より主な活動を発表させていただきます。よろしくお願いいたします。



活動地域の紹介

弘前市は人口約18万3,000人、津軽の小京都と呼ばれる城下町です。昨年、築城400年を迎えた弘前城は日本一の桜の名所として知られており、祭り会場となる弘前公園にはソメイヨシノ、枝垂れ桜、八重桜など50種類以上、約2,600本の桜が咲き誇ります。期間中は県内外から約200万人の花見客が訪れるため、防犯ボランティアである防犯指導隊員も14日間毎日、警戒パトロールに出動しています。



弘前市は、四季それぞれに祭りがあります。夏のねぶたまつりでは情緒あるおはやしに合わせ、扇ねぶたが約80台運行されます。弘前ねぶたは主に町会で制作されており、幼い子どもからおじいちゃん、おばあちゃんまで参加でき、世代交流と地域の団結を図れる、みんなが楽しめる祭りです。弘前公園では、秋に弘前城菊と紅葉まつり、冬には雪燈籠まつりが開催され、弘前は年間を通して、たくさんの観光客が訪れる町です。

活動内容

アップル☆キッズのメンバーである私と山口は、弘前地区防犯指導隊藤代婦人防犯部にも所属しております。これは市民会館で開催された郷土の新聞、陸奥新報社が主催した「新一年生おめでとう大会」の会場において、入場する約1,500人の子どもたちと保護者に身を守る合い言葉「イカのおすし」啓発の活動をしているところです。

私たちが主に活動している藤代地区には、弘前市立致遠小学校と三省小学校があり、毎年、入学式の日に入生と保護者に挨拶運動をしています。今年は、藤代駐在所長さんと一緒に「イカのおすし」鉛筆とリーフレットを配布しました。挨拶運動を通じて、警察官や防犯ボランティアの顔を知ってもらうことは、安全な地域づくりに効果ある活動だと思います。

春の安全・安心まちづくり旬間の実施に伴い、約200人





が参加して開催された、弘前地区「春の安全安心まちづくり推進大会」では、ステージ上でアップル☆キッズの進行により、致遠小学校の新入生と6年生の「トル JUMP」チームが防犯合言葉「イカのおすし」と万引き防止決意声明を元気よく発表してくれました。

これは、昨年2学期の始業式の朝に、致遠小学校「トル JUMP」チームの児童とアップル☆キッズ、防犯指導隊藤代支隊員の三者合同で挨拶運動をしている様子です。みんなの元気な挨拶から新学期が始まりました。JUMP チームは少年非行防止サポーターとして、中高校生を対象に非行防止を目的に警察署長から委嘱され活動しています。その小学生版として、致遠小学校に少年非行防止「トル JUMP」チームが平成23年4月に結成されました。オレンジ色の帽子と「トル JUMP」チームの身分証を身に付けて活動しています。



弘前警察署管内では、昨年4小学校 55 人の「トル JUMP」でしたが、今年は 26 校 357 人に委嘱されたそうです。少年非行防止チーム「トル JUMP」の子どもたちの活動に、私たちも協力していきたいと思っております。

同じように3学期の始業式の朝にも、「トル JUMP」チームとアップル☆キッズ、防犯指導隊と一緒に挨拶運動をしました。出勤前の隊員もおり、この冬は豪雪だったため、朝の雪かきも忙しく、さらに氷点下の寒い日で大変でしたが、「トル JUMP」チームの子どもたちから元気をもらいました。挨拶運動は回数を重ねるごとに会話も弾み、児童・生徒は地域の大人が見守ってくれているという安心感を得たと思います。

また、「トル JUMP」チームの子どもたちが一緒に活動するという事で、子どもたちと交流を図る活動にもなっています。この日は「万引きは絶対にしません」というチラシと万引き防止キャラクター、マンボークン、マービーちゃんの手作り缶バッジをプレゼントしました。その缶バッジ作りは 600 個という数だったので、実は私たちの手にまめができていたのです。まめができていたのですが、挨拶をしてくれる元気な子どもたちの笑顔で手の痛みも忘れました。

また、「トル JUMP」チームの子どもたちが一緒に活動するという事で、子どもたちと交流を図る活動にもなっています。この日は「万引きは絶対にしません」というチラシと万引き防止キャラクター、マンボークン、マービーちゃんの手作り缶バッジをプレゼントしました。その缶バッジ作りは 600 個という数だったので、実は私たちの手にまめができていたのです。まめができていたのですが、挨拶をしてくれる元気な子どもたちの笑顔で手の痛みも忘れました。

致遠児童センター、三省児童館にて、エプロンシアター「三匹の子ぶたの交通安全のお話」と連れ去り防止「イカのおすし」の紙芝居で自主防犯の呼び掛けをしている様子です。これは防犯講話で「イカのおすし」と命の大切さを教える紙芝居「ありがとう」を公演している様子です。交通安全と同様、防犯も低学年から繰り返し何度も語り掛けることで、子どもたちは自分で身を守る事の大切さを学び、安全確保につながると思います。



昨年度は、万引き防止活動に力を入れました。小学校には学童保育をしている児童館が隣接されて

おり、児童館と連携し万引き防止紙芝居「みみちゃんのとてとて」を公演しました。「みみちゃんのとてとて」という紙芝居は、インターネットで見付け、無料ダウンロードができるものですが、私たちが使用するに当たり、ボランティアで子どもたちに紙芝居を語っている兵庫県在住の作者、中村さんを探し当



てて、早速、連絡を取ってみました。是非、アップル☆キッズで使いたいとお願いしたところ「遠く離れている弘前でも、子どもたちに語ってくれるのはとてもうれしいことです。」と快く承諾してくださいました。

紙芝居の後は、みんなで万引き防止缶バッジ作りをしました。子どもたちは自分で作ったオリジナル缶バッジとあって、早速、胸元に付けて喜んで見ると、私たちの気持ちが伝わっていると感じて、いつも笑顔になります。

夏休みにSTOP 万引きの缶バッジを、致遠小学校リトル JUMP チームの児童と一緒に作りました。それを地域のスーパーマーケットやドラッグストアに持っていき「僕たちは『万引きは絶対駄目！』悪いこと」と教わりました。「お店の人も子どもたちが来店したときは、万引きしないよう優しく目配りと声掛けをしてください。」と、店長さんにバッジを贈呈しました。地域のお店の方々も快く協力してください、その日から店員さんの胸にも STOP 万引き缶バッジが光りました。これは藤代地区にあるスーパーマーケット前で、万引き防止を呼び掛けました。藤代婦人防犯部を兼務している私たちが行いました。



昨年、アップル☆キッズで地域の高齢者が集う昼食会を訪問しました。振り込め詐欺被害防止のチラシを配布して内容を説明し、被害防止を呼び掛け、振り込め詐欺被害防止川柳入りポケットティッシュを一人一人にプレゼントしました。



夕方、お客さんが多いスーパーマーケット前にて、アップル☆キッズと防犯指導隊が合同で防犯広報活動をしている様子です。広報活動と地域パトロール活動をして解散します。年に数回、広報活動とパトロール活動を行っています。これは、防犯パトロールや乗り物防犯診断をしたときの様子です。藤代地区には、私たち

アップル☆キッズと自主防犯団体の土堂町会青色防犯パトロール隊、防犯指導隊藤代支隊の2台で、合計4台の青色回転灯装備車両が活動効果的です。また、県警が推進したブルーアップ作戦に賛同し、青森県で初めて地域住民が自分たちの手で青色防犯灯に統一したのが土堂町会でした。その後、隣接する町会にも青色防犯灯の設置が広がりました。

地域で開催された敬老会で、万引き防止の寸劇を依頼され、初めてのことで不安でしたが、津軽弁で面白おかしく演じることができ、貴重な女優体験をしました。寸劇を見た高齢者の方は、ほんの数百円の品物を万引きすると、罰金が年金で払えないほどの数十万円にもなるということに驚いていました。

これは、弘前市内の保育園で開催された防犯教室に出向き「イカのおすし」と子どもが留守番するときの約束を教える「赤リボンちゃん気をつけて」の紙芝居を公演しました。紙芝居の後に、地域のお巡りさんからのお話があります。何度もやっているうちに、私たちが時間配分や表現力、見てくれている子どもたちの集中力なども気にするようになり、日頃の練習にも力が入ります。

アップル☆キッズは、主に地元の藤代地区で活動していますが、警察や防犯協会、小学校や学童保育などから依頼があると、防犯啓発に向かっています。去年は、弘前市子どもを守る環境浄化推進会議の事業として、小学校の授業の一環としての講話依頼があり、命の大切さを教える紙芝居「ありがとう」と万引き防止と交通安全の缶バッジ作りを行いました。千年公民館では、社会福祉協議会と連携の防犯講話でした。



おわりに

最後となりましたが、地元藤代地区では、私たちアップル☆キッズは駐在所、防犯指導隊、自主防犯ボランティア、町会、小学校、商店などがそれぞれ連絡を取り合い活動をしています。和気あいあいと話し合える良い関係を持つことで、地域の情報も入るし、実情に合わせた防犯活動ができると思います。挨拶運動は基本であり、一番大切なことだと思います。防犯活動は継続することで、地域住民に知ってもらうのが効果的です。自分たちの地



域の実情を把握して、防犯活動をしていくことが安全・安心まちづくり、つまり住みよい地域づくりにつながっていくものと信じています。私たち自主防犯パトロール隊アップル☆キッズは、次世代を担う子どもたちが心身共に健やかに育ち、子どもたちの笑顔のために、これからも頑張っていきたいと思います。

質疑応答

●質問 今日、胸に付けておられる缶バッジは何なのですか。

○回答 万引き防止缶バッジです。

●質問 お子さんと一緒に缶バッジを作って、手が痛くなったんですよというお話でしたが、お子さんの評判、作ったことが楽しかったよということもあったと思いますが、作ることを通じて、子どもたちがどんな思いで作っていったのかなとか、どういったところを目的として一緒に作ろうとなさったのですか。

○回答 紙芝居やお話の後に、一緒に缶バッジ作りをすることで、「よし、絶対に守ろう。みんなと一緒に約束するんだ。」という意思が強くなったと思います。